



「わが村は美しくー北海道」運動

第8回コンクール(平成28年～平成29年)

石狩・空知地域版

北海道開発局 札幌開発建設部

目 次

1	「わが村は美しくー北海道」運動とは	1
2	第8回コンクールについて	2
3	応募団体紹介	
	・WEAVE(ウィーブ)	3
	・北海道幌加内高等学校	4
	・「いきいき母さん土曜日」運営委員会	5
	・ルーキーズカンパニー	6
	・河川愛護団体リバーネット21ながぬま	7
	・江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会	8
	・パン甲子園実行委員会	9
	・北海道岩見沢農業高校 食品科学科「岩農食農塾」	10
	・ちっぷべつ緑のナポリタン推進協議会	11
	・北生振地区資源保全組合	12
4	「わが村は美しくー北海道」運動のコンクール応募状況	13
5	「わが村は美しくー北海道」運動ロゴマーク	14
6	第8回コンクール応募団体位置図	15

「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

「景観」の形成



団体の活動事例

新篠津村・農業観光生産者協議会



「恵庭農畜産物直売所」
かのな(花野菜)
運営協議会



魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

活発な「人の交流」づくり

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者18名で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々 「地域の資源」を見つけよう
- 広げようー活動の輪を大きく、自由に 地域の個性を競い合い高め合い
- 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

「わが村」運動 コンクール

活動団体

応募

(1年目)
現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

〔全応募団体の現地調査を実施〕
〔現地調査結果の内容等からブロック別に審査し、表彰団体を選考〕

表彰式(ブロック別)

(2年目)大賞の選考

〔優秀賞受賞団体から審査を行い、表彰団体を選考〕

表彰式

多くの人に伝えるための取組

- ホームページへの掲載
→ 活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→ 活動団体への情報提供
→ 活動団体の最新情報を発信
(配信希望先)
hkd-ky-wagamura.u@ml.mlit.go.jp
- JR北海道の車内誌
「THE JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→ 地域イベントに参加し団体活動を紹介
- facebook(フェイスブック)の取組
→ 活動団体の最新情報を広く発信
(NPOわが村は美しく-北海道ネットワークとの共同運営)
<https://www.facebook.com/wagamura>



「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクールについて



第8回コンクールポスター



応募要項

- 当コンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指しています。
- コンクールは、2カ年にわたって審査を行い、大賞受賞団体を選考し、表彰します。
- 1年目は、各開発建設部ごと(ブロックごと)に優秀賞、奨励賞団体を選考し、2年目は、全道の優秀賞受賞団体から、大賞を選考し、表彰します。

- **優秀賞** 優秀な活動と認められる団体
- **奨励賞** 将来性や継続性から奨励する活動と認められる団体
- **大賞** 全道の優秀賞の中から先導性、モデル性の高い活動と認められる団体

第8回コンクールスケジュール

1年目

- ・応募団体募集
- ・ブロック別優秀賞、奨励賞の選考
- ・ブロック別優秀賞、奨励賞の発表
- ・表彰式

平成28年3月14日(月)～平成28年6月30日(木)
平成28年7月1日(金)～
平成29年1月23日(月)
平成29年1月24日(火)～

2年目

- ・大賞の選考
- ・大賞受賞団体発表
- ・表彰式

優秀賞全14団体の中から選考
平成29年秋頃



【由仁町】

WEAVE（ウィーブ）

若手女性農業者が楽しく学んで仲間づくり

優秀賞

はじめは？

由仁町の若手女性農業者の交流と学習の場として平成25年に設立。地域には農業についてほとんど知識がない状態で農家に嫁いだり、町外から農家に嫁いできて知り合いがいない農家のお嫁さんが多いのに、学んだり交流する場がありませんでした。そこで、4Hクラブなどに所属する夫を持つ女性農業者が中心となり発足したのがWEAVEです。「WEAVE」は「編む」「織る」などの意味で、「女性らしく丁寧に活動していきたい」との願いが込められています。

主な活動

仲間づくりとして、メンバーの農場を訪れ、家族や経営内容を紹介し合う「お宅訪問」や「近隣の若手女性農業者との交流会」、「町内の異業種女性グループとの交流会」を開催したり、農業の勉強と「味噌・豆腐・ソーセージなどの加工技術の習得」や「野菜栽培技術の習得」、「希少野菜のイベント販売や野菜業者への販売」、「実習農場の運営」を行い、地域の活性化に貢献するため「地域イベントハロウィンカーニバル」の主催などを行っています。

ハロウィンカーニバルの集合写真



ここが自慢



お宅訪問の様子



由仁マルシェの様子

栽培している希少野菜



【会員全員が無理なく参加できる雰囲気作り】

会員は20歳から40歳までのため、小さい子供がいる人が多いグループです。そのため、定例会には必ず子供を連れてくることとしています。子供がいることで会話がうまれたり、家を出てきやすい状況になっています。また、各種イベント等のプロジェクトリーダーを複数人おき、みんなが無理なく参加できるよう工夫しています。

連絡先

代表者名：林 奈美さん
設立：2013年
会員：15名
連絡先：空知農業改良普及センター空知南東部支所
平門 隆良さん
住所：栗山町中里67
電話番号：0123-72-2358
FAX：0123-72-7276
E-mail：hirakado.takayoshi@pref.hokkaido.lg.jp

キラリポイント

「仲間を作る場、勉強する場がないなら、自分たちで作ろう！そしてやるならみんなで、楽しく！」をモットーに活動しています。団結力と行動力にあふれた奥さん達です。乾燥野菜を使ったレシピも作っています(*^o^*)



高校生が「幌加内のそば」で地域活性化活動

【幌加内町】

北海道幌加内高等学校

はじめは？

幌加内高等学校は、昭和29年に農業後継者育成と地域の教育を充実させるため創立されました。平成6年に、幌加内町の特産物である「そば」を使った家庭科の調理実習を行ったことをきっかけに、そばを打つこと、食べてもらうことに関心が高まりました。そば打ち授業を続けていく中で生徒の技術も向上し、平成10年には「素人そば打ち段位認定会」で初段位の認定を受ける生徒も出るまでになり、そんななか、文部省(当時)が学習指導要領を改訂したことに伴い、平成14年度から正式に「そば」を必修科目としています。

主な活動

全国で幌加内高等学校だけが唯一必修科目にしている「そば」の授業を全学年が週2時間、座学のほか、そば打ち専用教室「そば道場」で、そば打ちの技術を磨いています。生徒は「素人そば打ち段位」の取得を目指し、「全国高校生そば打ち選手権」では3回の優勝を獲得する強豪校となっています。身につけた技術は「幌加内町新そば祭り」等のイベントで地域の皆様に披露し、生徒が打ったおいしいそばを提供しています。また、そばを使った新しい商品の開発にも取り組み、当校で開催している幌高商店会販売会や(株)ヤフージャパンと提携したネットショップでの販売も行っています。

ここが自慢



幌加内町新そば祭りの様子



そば菓子ギフトセット



そば豚の冷しゃぶ

【高校生が「幌加内のそば」で地域活性化活動】

「そば」そのものの学びだけでなく、そば粉を使ったパウンドケーキの開発やそば打ちの授業で出てしまう廃棄する生そばを飼料に混ぜて飼育した「そば豚」の研究など、幅広く学んでいます。幌高商店会販売会やイベントでの販売は、直接消費者の方に接客するため、その経験はそのまま社会経験となります。

連絡先

代表者 名：校長 廣瀬 之彦さん
設立：1954年
会 員：63名
連絡先：教頭 保格 秀規さん
住 所：幌加内町字平和
電話番号：0165-35-2405
FAX：0165-35-3477
E-mail：horokanai@mb.infosnow.ne.jp
URL：<https://www.infosnow.ne.jp/horokanai/>

キラリポイント

生徒さん達は「町のために何が出来るか」を考え、学んでいます。町に「ない」ものではなく、「ある」ものに焦点を当て、特産物である「そば」を様々な形で活用する方法を研究しています。地域の人達は学校で開催されるアンテナショップを楽しみにしています(*^_^*)

コンクール応募団体



「いきいき母さん土曜日」運営委員会

農家のお母さんたちが自慢の逸品を販売します

【岩見沢市】
【美 唄 市】

ポスター



はじめは？

岩見沢市や美唄市の女性で構成された「空知中央いきいき女性ネットワーク」の会員有志が、活動を通じて販路の拡大と地域の活性化に寄与したいと平成26年に設立しました。

自分たちが作った商品のPRと農業への関心を深めてもらい、応援団になって欲しいと願っています。

そこで、冬期間に少なくなる農産加工品の販売場所を自分たちでつくり、会員が作った農産物や加工品を直接消費者に販売する「農家のあさん土曜日」を開催することになりました。

主な活動

農閑期の11月から3月までの月1回、岩見沢市中心部にあるカフェを借りて「いきいき母さん土曜日」を開催しています。自分たちが生産している農産物と、その農産物を使用して開発した加工品を販売するほか、地場産米を使ったおにぎりセットやキタノカオリを使ったパンやパンケーキなどのランチを提供しています。また、会場ではお客様に楽しんでいただけるよう、会員が特技を活かして月替わりで講師となり、簡単にできる漬物の講習会や、地場産の花を使ったお花のアレンジ体験、クリスマスケーキ作りなどの講習会も開催しています。

ここが自慢



お花のアレンジ体験の様子



【農業者と異業者が協力して地域活性化】

会員は、空知地域が活性化するために、まず自分たちが出来ることをやろうと活動しています。農業者は自分たちの作った農産物の良さを知ってもらい、異業者は農業者と連携して地元農産物のPRに貢献したいと考えています。自らが販売し作り手の思いを伝えることで、地域農業を応援してくれるファンも生まれ、全員「いきいき」としています。

連絡先

代 表 者 名 : 池田美千子さん
設 立 : 2014年
会 員 : 35名
連 絡 先 : 池田美千子さん
住 所 : 岩見沢市北村砂浜4813
電 話 番 号 : 0126-26-3372
F A X : 0126-26-3372

キラリポイント

「腕に覚えあり！」の「いきいき母さん」達が、自慢の農産加工品等を元気に販売しています!(^^)!おいしい食べ方も教えてください。カフェスペースで軽食を食べながらゆっくりくつろぐこともできます♪

コンクール応募団体

ルーキーズカンパニー



奨励賞

若手農業者が「ルーキー」を卒業するべく作った学びの場【恵庭市】【千歳市】
【北広島市】

集合写真



はじめは？

かつては恵庭市・千歳市・北広島市にそれぞれあった若手農業者グループが、参加人数の減少などで昭和60年代頃までに全て解散してしまい、交流や学習の機会が失われてしまいました。

その後は各個人で研究発表会などに参加していた人が、1つの市のみでの活動は難しくても、3つの市が集まれば出来るのではないかと考え、仲間づくりと学習の場を得るため、市をまたがった若手農業者の団体として平成6年に結成されました。

主な活動

技術向上のための学習会や会員相互の交流活動、食農教育などの地域貢献活動を行っています。月1回の定例会のほか、勉強会は年に3～4回行い、肥料や農業機械といった基礎的なことや、小麦の品種切り替えに対応するため「ゆめちから」を学ぶプロジェクトにも挑戦しました。日頃の勉強の成果は近隣の若手農業者のグループと共同で開催している「いしかりアグリフォーラム」で発表しています。また、ハロウィンカボチャを作り、地域の子供たちと交流しています。平成20年からは北海道文教大学、恵庭市教育委員会とともに「えにわ大好き！食の体験ランド」という食育事業を行っています。

ここが自慢



「ゆめちから」生育調査の様子



えにわ大好き！
食の体験ランド



ジャックオーランタン作り

【卒業（一人前になった）は自己申告】

経験と知識の少ない若手農業者の学ぶ場なので、当然みんな早く一人前になろうと活動しています。この会では、農業技術を得るのみでなく、学習活動や地域農業を広く発信することで、仲間や地域の人とも交流を深めることができるので、農業者としても人間としても成長することが出来ます。そして、自分の成長を認めることのできる農業者となったときルーキーではなくなり、卒業となります。

連絡先

代表者名：中島 崇裕さん(平成28年度)
設立：1994年
会員：30名
連絡先：石狩農業改良普及センター
住所：恵庭市西島松120-13 石狩農業普及センター内
電話番号：0123-36-8083
FAX：0123-36-5067

キラリポイント

常に「若手」会員で構成されたグループです。同じような年齢、経験の会員がお互いに協力し合いながら、一人前になるため活動しています。農業者が直接伝える食育活動は、地域の子供達にとって貴重な体験となっています(o^^o)



水害から命と農地を守る植樹活動

【長沼町】

植樹風景



はじめは？

長沼町は農業が基幹産業の町ですが、川に囲まれた地形で、明治の開基から現在まで約70回もの大きな水害に襲われました。そのたびに多くの農地・農作物が失われ、人の命も失われています。自然災害である水害を完全に無くすことはできませんが、川を知り河川環境を整えることで水害事故死者を減らすことは出来ます。

農地を助け、人命を守り、水害に強い町をつくるため、町民有志が平成14年から植樹活動と河川の清掃活動等を始めました。

主な活動

毎年10月に植樹を行っています。植樹のための苗木作りや、毎年5月1日から10月31日までは、雨さえ降らなければ毎日水やりや除草など、植樹した樹木の管理作業を行っています。毎年、多雨期に入る前、6月末から7月初め頃までに馬追運河の清掃活動を行っており、基線橋から西3線橋までの約2.5kmのゴミ拾いを実施しています。防災、減災の啓蒙活動も行っており、住宅浸水防止のための土嚢積みの実演や、保水力実験装置を使い、森林の働きをわかりやすく説明しています。

ここが自慢

【地元の木から採種して育てた木の苗を植樹】



保水力実験装置



育てた苗木



馬追運河ゴミ拾い



平成25年の植樹地

植樹している木の苗は、全て近くの森林から採種した木の種を育て、育った苗木を植える「生態学的混播・混植法」を採用しています。そのため、地域の生態系を乱すことなく木を増やすことができます。苗木は、ナナカマド、ケヤマハンノキ、センノキ、イタヤカエデ、オニグルミなどです

連絡先

代表者名：山本 隆幸さん
設立：2002年
会員：78名
連絡先：山本 隆幸さん
住所：長沼町錦町南1丁目1-17((有)山本内)
電話番号：090-8634-4134
FAX：0123-88-0320
E-mail：yamamoto.takayuki@lemon.plala.or.jp
URL：https://rivernet-21-naganumajimdo.com/

キラリポイント

植樹は、生態系に配慮しています。一つの区画に10種の苗木を植え、より環境に適した個体が成長していく方法を採用しています。活動が地域の為になっていることが会員の喜びであり、原動力になっていますp(^_^)q



直売所部会、貸し農園部会、加工部会が
協力して江別の農業をPR

【江別市】

江別市の美しい農村風景



はじめは？

都市型農業を展開している江別市で、消費者と生産者の「顔が見える関係作り」と都市と農村の交流を通じて地域全体の活性化を図ることを目的に、平成17年に設立されました。「まち」と「むら」が交流し「まち」の人たちに江別市の農産物や農産加工品を知ってもらう活動と、自分で作る楽しみの場も提供しています。当協議会は、「直売所部会」「貸し農園部会」「加工部会」の3つの部会があり、部会ごとの活動と3部が連携して行う「農業体験バスツアー」などのイベントも開催しています。

主な活動

直売所部会は13ヶ所の直売所が登録しており、毎年「直売所スタンプラリー」を実施しています(参加直売所数はその年によって変わります)。実施期間は8月1日から9月30日までで、スタンプの数に応じて差し上げる賞品は江別市の特産品と農産加工品です。貸し農園部会は8農園が登録しており、部会員が利用者に農作物の栽培方法を教えたり、野菜講習会なども実施しています。加工部会は、12グループが登録しており、各グループごとに加工品の開発を行っているほか、11月から3月までは市内数カ所で「農家のかあさん土曜日」を開催しています。3部会合同では「農業体験バスツアー」を実施しています。

ここが自慢



農業体験バスツアーの様子



土曜市の様子

加工部会の商品



【農業体験バスツアーの様子】

直接消費者の方と交流している直売所部会と野菜栽培の楽しさを利用者に伝えている貸し農園部会、そして自分たちが生産した農産物の良さを引き出し商品開発と販売を行っている加工部会。それぞれが活発に活動しているから、3部合同のイベントも、お互いが江別市の農業をPRするという同じ目的に向かって活動しているので充実した内容になっています。

連絡先

代表者名：菊田 常郎さん
設立：2005年
会員：33グループ
連絡先：江別市経済部農業振興課
稲垣 麻美さん
住所：江別市高砂町6番地
電話番号：011-381-1025
FAX：011-381-1072
E-mail：nogyo@city.ebetsu.lg.jp
URL：<https://www.facebook.com/ebetu.nogyo.koryusuishin/>

キラリポイント

3部会の活動は、消費者に江別市の「農業」を「買う」「作る」「食べる」という3つの楽しみだけでなく、スタンプラリーやバスツアーで「体験する」という4つ目の楽しみ🍀も提供しています(^-^)

コンクール応募団体 パン甲子園実行委員会



地域の小麦と農産物を活用した高校生の
オリジナル創作パンコンクール

【岩見沢市】

2016年のポスター



2016
パン甲子園
inいわみざわ

はじめりは？

岩見沢市の地域活性化のため、岩見沢市生まれの小麦「キタノカオリ」を使った創作パンのコンテストを行うことになりました。岩見沢市内のパン店5店舗と商店街商工会議所等が実行委員会を組織し、平成25年に第1回コンクールを開催しました。

参加対象を地域を担う若者である高校生とし、北海道産小麦の魅力を高め、地産地消の促進を目的に、使用する食材を参加校の地域特産物としています。

子供から大人まで、一緒に地域について学び考えるきっかけになってほしいと考えています。

主な活動

高校生を参加対象とした創作パンのコンテストである「パン甲子園」の企画運営を行っています。応募要項の作成や募集、書面による第一次審査の他、10月に開催する本選の開催要領、審査基準作成等のほか、当日の運営を含め事務作業を行っています。グランプリを受賞した作品の商品化を促進し販売の機会を作ることや、グランプリチームの研修旅行の引率なども行っています。本選当日は北海道産の小麦を使用した有名パン店の商品を販売するパンマルシェや小学生を対象にした「こんなパンあったらいいなあ」をテーマにした創作パンのイラストコンテストも開催しています。

ここが自慢



岩見沢産の「キタノカオリ」



本選の様子



平成28年グランプリ作品

【高校生の地元愛あふれるレシピ】

高校生は、地域の地域特産品を使用したレシピを開発し、応募します。レシピ開発には、まず地元になにがあるのか知る必要があり、誰がどのように作っているのか深く学んでいきます。その過程で地元への愛情や愛着が生まれ、本選のプレゼンテーションでは、どのチームからも地元に対する愛情がとて伝わってきます。本選は一般解放をして行っていますので、ぜひ高校生の熱意あふれる姿を見にいらしてください。

連絡先

代表者名：奥野 賢一さん
設立：2013年
会員：12名
連絡先：山本 吉信さん(事務局長)
住所：岩見沢市5条西2丁目4-1(有)モンパリ内
電話番号：0126-24-2840
FAX：0126-25-2070
E-mail：yamamoto@monpari.biz
URL：<https://www.facebook.com/pankousien/>

キラリポイント

高校生の熱意と発想力で、地域の食材と小麦が美味しいパンになります(^o^)
コンテストをとおして、新しいご当地グルメが誕生し、地産地消が推進されることで地域の農作物や小麦の生産を守っていききたいと活動しています。



高校生が先生！「楽しく」「学べる」食育事業

【岩見沢市】

はじめは？

食品科学科では、原料生産から加工について学んでいます。学んだことを地域の子供たちに還元したいと平成24年度からはじめました。

食育は、食を理解し健全な食生活を実践する人間の育成につながるものです。生徒が普段の学習の成果を活かし、「食」の大切さ、農業の大変さ、命の大切さを伝えることを目的にしています。「岩農食農塾」は食品科学科肉製品製造専攻班食育グループの2年生と3年生が担当しています。

主な活動

「岩農食農塾」は4月から10月の期間に10回開催しています。期間をとおして水稻の栽培を行っており、播種育苗、田植え、間に生育調査、秋に稲刈り、脱穀、精米までほぼ手作業で行い、最後に試食を行います。水稻の学習の他に、パン、ウインナー、アイスクリーム作りなどの加工実習や市内の農業者と連携して宿泊学習も行っています。塾の講師は生徒達が輪番制で担当し、テキストの作成や小学生への講義を行っています。生徒は地域の農業者や行政の担当者などを講師に迎え、小学生に教える前に事前学習をしています。小学生は、最後に一人ずつ学んだことを模造紙にまとめ、成果発表を行い、締めくくります。

平成28年の入会式



ここが自慢



田植えの様子

【高校生が自ら学び教える食育】

小学生に教えるためには、まず自分たちが再度理解を深め、新たな知識を得ることを実践しています。また、「伝えることの難しさ」を経験することで、生徒達は、改善し、様々な工夫を取り入れています。

実践だけでなく、その後の検証もしっかり行い、「岩農食農塾」のあり方、進め方も生徒達が自主的に決め、活動を進めています。

実習前の講義



実習終了後の清掃の様子



連絡先

代表者名：校長 西田 丈夫さん
設立：2012年
会員：9名
連絡先：食品科学科 教諭 松本 賢さん
住所：岩見沢市並木町1番地5
電話番号：0126-22-0130
FAX：0126-22-5362
E-mail：matsuken1031@hokkaido-c.ed.jp
URL：https://www.gannou.ed.jp/

キラリポイント

普段は学ぶ立場の生徒達が、教える側に立ち「よりよく学ぶ」ために何が必要なのか、という視点をもって取り組んでいます。小学生は、最後に学習の成果を発表し、地域の「食」と「農」に関心を深めています(o^v^o)

コンクール応募団体

ちっぷべつ緑のナポリタン推進協議



ご当地グルメ「ちっぷべつ緑のナポリタン」で
地産地消と地域活性化

【秩父別町】

はじめは？

農商工の連携に対し、地域住民・秩父別町・JA・商工会が協力して地域一丸となり、地域特産品の普及並びに消費拡大と、交流人口の増加を目指した地域活性化へ向け、ご当地グルメの開発へ取り組み、試行錯誤を繰り返し約1年2カ月の歳月をかけ、秩父別町で初となるご当地グルメ「ちっぷべつ緑のナポリタン」が誕生しました。（平成25年6月デビュー）

主な活動

「緑のナポリタン」は町内の3店舗で提供されているほか、オータムフェストやHTBイチオシまつりなどのイベントに出店し提供しています。平成25年「新・ご当地グルメグランプリ」に初出場で第3位に輝き、以降毎年参加して秩父別町をPRしています。また、町内では、地産地消への関心を深め食育の一助となるよう「ご当地給食」として地元の小中学校で児童、生徒に提供しています。

ここが自慢

【地域の人々がサポーター】



オータムフェストの様子



箸置き



ご当地給食の様子

「緑のナポリタン」には地域住民による約40名ものサポーターがおり、イベントへの参加は協力なしに成り立ちません。また、「緑のナポリタン」のキャラクター「ミドナポくん」の人形を作ってくれた方、ブロッコリー型の箸置きを作ってくれた町内の陶芸クラブの方々、ミドナポソングを作ってくれた方など、「緑のナポリタン」は地域の人々に愛されているご当地グルメです。

連絡先

代表者名：小島 昇一さん
設立：2013年
会員：40名
連絡先：佐藤 裕司さん
住所：秩父別町1875番地(秩父別町商工会内)
電話番号：0164-33-2459
FAX：0164-33-2216
E-mail：cppusyko@coral.ocn.ne.jp
URL：<https://www.facebook.com/midonapomidonapo/>

キラリポイント

ブロッコリーの緑とトマトの赤。見た目も美しいビタミンカラーの Pasta です！もちもちの平麺とソテーしたブロッコリーのコリコリした食感も美味しさの秘密です。専用のトルネード箸でカジュアルに召し上がっていただけます(*^_^*)



地域の人々が憩う場所

「きたおやふる田園並木通り」を作っています

【石狩市】

きたおやふる田園並木通り



はじめは？

もともと地域の人々が農用地とその周辺の環境を整備保全するため、ボランティアで清掃等の活動をしていましたが、国の施策「農地・水・環境保全向上対策」に取り組むため、平成20年に保全組合として設立されました。

この施策は、地域における農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動を、一体的かつ総合的に支援するというものです。

地域の人々が助け合い協力し合って農地や水路、道路などの環境を整え、地域の景観形成・生活環境の保全に貢献するため活動しています。

主な活動

遊休農地の発生防止のための巡回や、毎年6月～9月頃には農用地、水路、農道の草刈りを行っています。また、水路の泥上げ、農道の路面の補修(砂利敷きなど)を行っているほか、外来種の駆除、平成20年と平成21年に植樹した「きたおやふる田園並木通り」の管理を行っています。地区内の清掃活動であるゴミ拾いは、毎年6～10月頃行っています。市民に活動を知ってもらうため年1回、石狩市役所1階の市民ホールで活動写真をパネルにした、パネル展を開催しています。

ここが自慢



清掃活動の様子



植え付け作業の様子

植樹した木の実



【地域の人々が協力して憩いの場づくり】

平成20年7月6日、46名の参加者の手によって植樹が行われ、「きたおやふる田園並木通り」と命名しました。地域の人々が集まり、樹木の生長を楽しめる空間になるよう桜やリンゴ、サクランボをメインに植えています。自然環境が厳しく、なかなか理想通りの景観になりませんが、地域の皆で大切に育てています。

連絡先

代表者名：須藤 義春さん
設立：2008年
会員：57名
連絡先：石狩市農業総合支援センター内
資源保全組合事務局 山岸 嗣宜さん
住所：石狩市八幡2丁目332番地11
電話番号：0133-66-3345
FAX：0133-66-3335

キラリポイント

地区の住民が安心して耕作や生活できる環境を自分たちの手で作っています。定期的な清掃活動や草刈りなどで不法投棄が劇的に減少するなど、成果が現れています。並木の生長が会員の楽しみです(´▽`)

コンクール応募状況

- 「わが村は美しくー北海道」運動の第1回～第5回コンクールは、「景観」「地域特産物」「人の交流」の3つの部門別に団体を募集
- 「わが村は美しくー北海道」運動の第6回コンクールからは、部門を問わず農林水産業 に係わる活動を行っている団体を募集

第1回～第8回コンクール応募状況

	景 観	地域特産物	人の交流	合 計	応募団体数	応募市町村数
第1回	38	39	49	126	114	70
第2回	51	57	89	197	160	103
第3回	43	76	98	217	170	103
第4回	41	83	105	229	169	100
第5回	52	81	138	271	200	104
第6回	-	-	-	-	113	84
第7回	-	-	-	-	99	80
第8回	-	-	-	-	86	70

第1回～第8回コンクール応募状況

市町村	参加 団体数	わが村賞 大賞	部 門			第6・7回・8回
			景観	地域特産物	人との交流	
札幌市	5				銅賞	
江別市	9			金賞		
千歳市	1					奨励賞
恵庭市	5	大賞		銅賞		優秀賞・奨励賞
北広島市	3					
石狩市	4					奨励賞
当別町	3				銅賞	奨励賞
新篠津村	2					優秀賞
夕張市	1			金賞		
岩見沢市	12					優秀賞・奨励賞3回
美唄市	14			銀賞2回		奨励賞2回
芦別市	2					
赤平市	4					奨励賞
三笠市						
滝川市	5		特別賞	銅賞		奨励賞
砂川市	1					
歌志内市						
深川市	6				銀賞	奨励賞2回
南幌町	2					
奈井江町	1					
上砂川町	1					
由仁町	3					優秀賞
長沼町	7				金賞・特別賞	奨励賞2回
栗山町	2		特別賞		銀賞	
月形町	2					
浦臼町	4					
新十津川町	3					
妹背牛町	4					
秩父別町	4					
雨竜町	2				銅賞	
北竜町	8			銀賞・銅賞		奨励賞
沼田町	5			銀賞	特別賞	
幌加内町	8	わが村賞 大賞	銅賞	金賞	金賞	優秀賞
計	133					

※第1回～第5回で3部門全てで金・銀・銅賞のいずれかを受賞した団体の市町村にわが村賞」を表彰。第6回以降は全道10ブロックの優秀賞の中から優れている団体に「大賞」を表彰。

「わが村は美しくー北海道」運動第6回コンクールの応募状況

	参加団体数	大賞・優秀賞	優秀賞	奨励賞
全 道	113	3	11	35
札幌開発建設部	13	1	—	7

「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクールの応募状況

	参加団体数	大賞・優秀賞	優秀賞	奨励賞
全 道	99	3	14	30
札幌開発建設部	13	1	2	4

※管外の大賞受賞団体は「絵本の里けんぶちVIVAマルシェ(剣淵町)」と「落石地区マリンビジョン協議会(根室市)」です。

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクールの応募状況

	参加団体数	大賞・優秀賞	優秀賞	奨励賞
全 道	86	—	14	30
札幌開発建設部	10	—	2	4

※第8回コンクールの大賞は優秀賞全14団体の中から平成29年度に決定します。

「わが村は美しくー北海道」運動ロゴマーク



「大」は北海道の広大な大地、「人、人、人」はみんなで参加し、運動の考え方を共有しよう、みんなに伝えよう、「\ /」は広げよう、発展させよう、という意味をイメージしています。

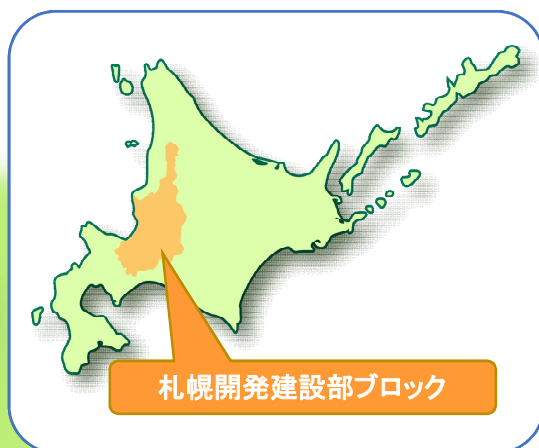
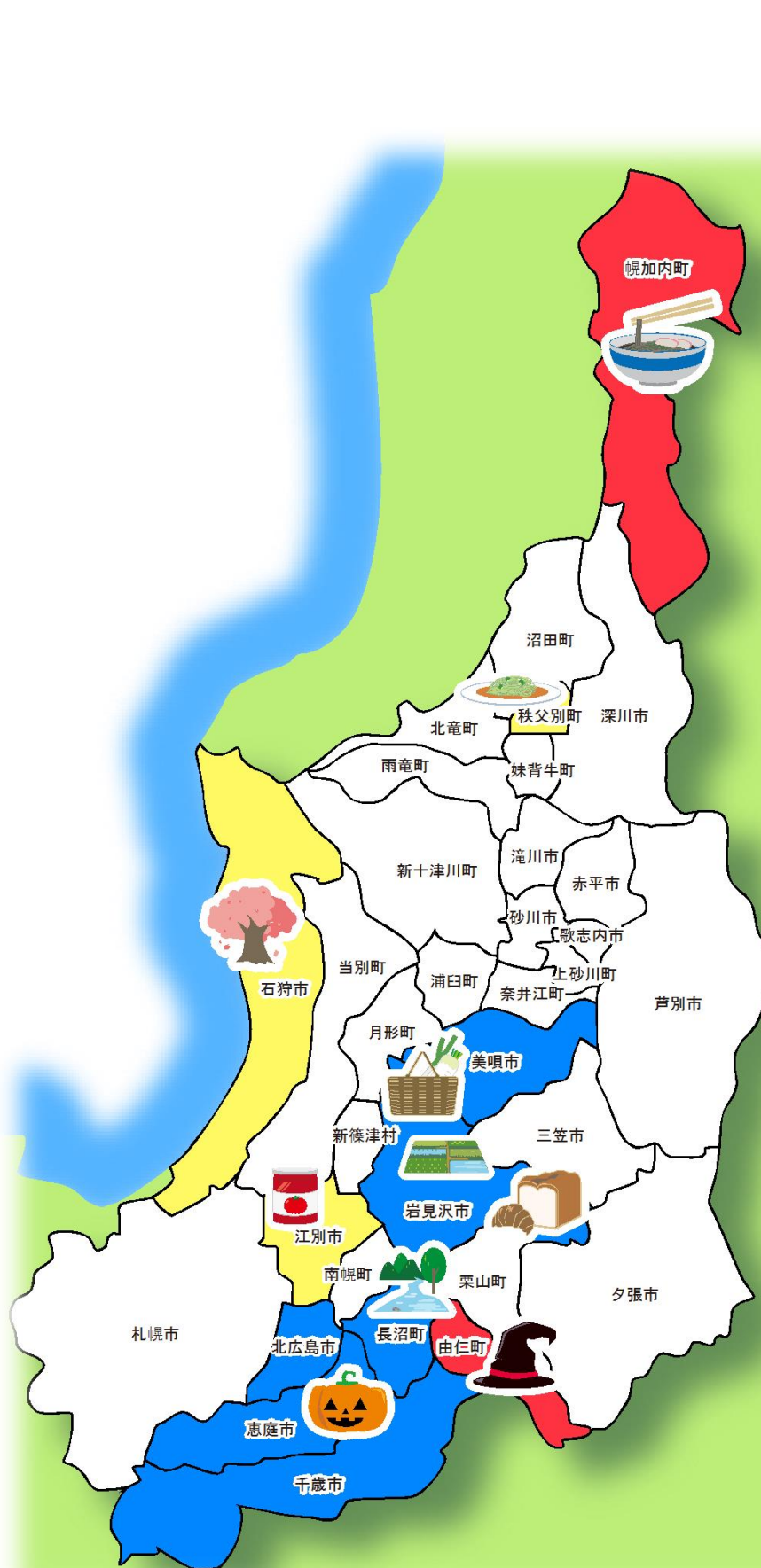
赤は「北海道の人たちの地域づくりのモチベーション、熱い思い」を、緑は「北海道の有する豊かな自然、森や木(山林)、農地の緑(農村)」を、青は「北海道の水の清さと綺麗な空気、豊かな海(漁村)」をイメージしています。

ロゴマークは、「わが村は美しくー北海道」運動の趣旨に賛同し、運動を応援していただける方々に広く使用していただくものです。

詳しくはこちらまで

http://www.hkd.mlitt.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/logo/logosiyou/index.html

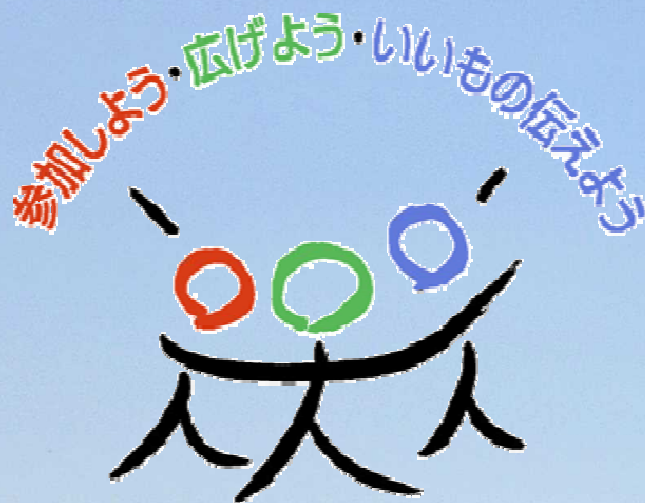
第8回コンクール応募団体位置図(札幌開発建設部管内)



応募団体一覧

優秀賞		WEAVE(ウィーブ)
優秀賞		北海道幌加内高等学校
奨励賞		「いきいき母さん土曜市」
奨励賞		ルーキーズカンパニー
奨励賞		河川愛護団体 リバーネット21ながぬま
		江別市「まち」と「むら」の 交流推進協議会
		パン甲子園実行委員会
		北海道岩見沢農業高校 食品科学科「岩農食農塾」
		ちっぷべつ 緑のナポリタン推進協議会
		北生振地区資源保全組合

Handwriting practice area with 20 horizontal dashed lines.



“わが村は美しくー北海道”

北海道開発局 札幌開発建設部 土地改良情報対策官

住 所：札幌市中央区北2条西19丁目

TEL：011-611-0274(ダイヤルイン)

FAX：011-611-4232

写真：江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会提供

2017.03 作成